

自ら楽しみを創る子どもの育成

10月4日(金)の昼休み、栽培委員会の子どもたちが、正面玄関の花壇に花を植えてくれました。まだまだ暑い中、一つ一つ丁寧に植える子どもたちの姿に感心しました。みなさん、ありがとうございます。



東小田チャレンジに向けて ~子ども実行委員会~

2学期がスタートし、1ヶ月が過ぎました。10月は、校外活動に出かけるなどの体験的な活動が多く計画されています。5年生の林間学校や6年生の修学旅行では、自分たちで計画したり、協力して活動したりと友だちと一緒に考え、悩み、課題を解決していく体験を行っていきます。このような自分たちで楽しみを創る活動を通して、子どもたちが成長していくことを楽しみにしています。

さて、全校で取り組む「東小田チャレンジ」を10月26日(土)に開催します。これまでの東小田チャレンジでは、友だちが何かにチャレンジする姿や作品を見て、「自分たちも何かにチャレンジしてみよう。今頑張っていることを続けていこう。」といった気持ちを醸成してきました。そこで、今回は、すべての子どもたちが学年でチャレンジすることを決め、取組のプロセスや当日の発表を通して、自分たちの「やれば、できた!」「みんな頑張っているな!」といった気持ちを膨らませ、学校全体で子どもたちの自己肯定感を高めていきたいと思えます。

また、今回は東小田チャレンジ実行委員会(子ども)を組織しました。5・6年生の代表児童10名が、「こんな東小田チャレンジにしたい!」と内容や当日の役割を話し合っています。そして、各学年の子どもたちは、今、「ドッジボールラリー・合奏・合唱・大縄飛び」等、チャレンジすることを決め、学年みんなで取り組んでいるところです。



【東小田チャレンジ実行委員会会議】



【6年生合唱練習(東小田チャレンジ・筑後地区音楽祭に向けて)】

「しかる」のポイント①

- ①内容を明確にして(何を正したいのか)
 - ・人格ではなく行為を
- ②基本は一对一
 - ・子どもを止めて、目を見て、平静に
 - ・タイミングを考えて
- ③自分の考えと気持ちを伝える
- ④相手の言い分をきく。
- ⑤期待を告げる。
- ⑥フォローも忘れずに……

「しかる」のポイント②

- ③自分の考えと気持ちを伝える
 - ①理由を伝える。
 - ②「～してはダメ!」から「～してね!」
 - ③「気持ち」は認めるけれど、「行動」はよくないと注意する。
 - ④「あなた」メッセージから、「わたし」メッセージ
 - ・「私」は、こう思う。
 - ・「私」は、こう感じる。
 - ・「私」は、このようにしてほしい。
 - ⑤周りの人が許さないと聞いたしかり方→×
 - ・○○さんからおられるよ!

「しかる」

前回、「ほめる」について紹介しましたが、今回のテーマは「しかる」についてです。

学校や家庭でも子どもたちをしからなければならぬ場面は、多々あります。つつい、感情的になってしまいうこともあり、しかった後、反省することもあります。

しかる場合は、言動の問題点は指摘しますが、人格は否定しません。

怒る場合は、感情的になりがちで人格まで否定してしまう場合があります。

「しかる」とは、「子どもに腹を立てるのではなく、子どもが自分も他人も大切にされるように一つずつ教えるいくことです。」

と云われています。

「しかる」ポイントなど、図で紹介していますので、参考にしてください。

